

委託事業実施内容報告書

平成24年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 地球っ子クラブ 2000

1. 事業名称

外国人と日本人が共に学ぶ日本語教室“多文化ハッピープログラム”

2. 事業の目的

外国につながるのある人達が、地域でその力を十分に発揮し活躍する多文化共生の街作りのために、日本語教室のあるべき姿をあらためて考え試行する。その中で、外国人の活躍する場作りと、そのための学習として「共通語としての日本語」を日本人側も学び、地域の日本語環境を変えていくことを目的とする。

さらに、外国につながる子であっても日本の未来を担う子どもたちととらえ、その教育を保障するための一策として、両親(特に国際結婚した日本人父親)の参加できる場としての教室をもうける。また、事業を進める中で、行政との連携を大切にし、子どもたちの現状について共通理解をすると共に、これを通して、最近増えている10代後半の子どものケアと、未就学児のプレスクールへの足がかりにしたい。

3. 事業内容の概要

①さいたま市七里地区における親子の日本語教室(地球っ子クラブ 2000 担当)

言葉と文化を発信する日本語教室(Coconico担当) 合計40時間

②日本人と外国人と一緒に学ぶ共通語としての日本語講座 合計20時間

③子育て・教育に関する話題集づくり

以上のことを地球っ子クラブ 2000 と多文化子育ての会Coconicoが協力して実施する。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成24年7月 11日 15:00~17:00	2時間	さいたま市市民 活動サポートセ ンター	岩本如貴 佐藤美姿 佐藤恭子 高柳なな 枝 井上くみ子 田 代ドルマー 芳賀洋 子 金子多実枝 相内広樹 松澤	1)今回の事業の趣 旨確認 2)春原憲 一郎氏の講演会に ついて 3)教室、 講座などの募集方 法について	1)採択された地域日本語教育実践プログラム(A)の3本柱の内容、 時間、スケジュールについて (1)「生活者としての外国人」に対する日本語教室の設置・運営 (2)日本語教育を行う人材の養成・研修など (3)日本語教育のための学習教材作成 .2)春原憲一郎氏の講演会について

				説子 駒野恭子		3)教室、講座などの募集の検討と連携について
2	平成 24 年 9 月 5 日 15:00～17:00	2 時 間	さいたま市市民 活動サポートセ ンター	岩本如貴 小林正美 石戸教嗣 佐藤美姿 高柳なな枝 井上くみ子 金子多実枝 芳賀洋子 加藤恒 相内広樹 駒野恭子	1)事業の趣旨確認 と進行状況の報告 2)子どもの状況につ いて	1) 事業の進行状況の報告 (1)「生活者としての外国人」に対する日本語教室の設置・運営 (2)8月23日(木)さいたま市立南浦和図書館「多言語お話し会」 (3)日本語教育を行う人材の養成・研修など 「春原憲一郎先生講演会」「にほんご畑」の順調な滑り出しに期待 (4)生活者としての日本語教育カリキュラム案には、教育・子育てに関 するものがないので、普段の活動の中から必要と思われることにつ いて話題集を作成する。 2)今後の予定・デイキャンプ・にほんご畑・国際フェアについて 3)子どもの状況について、問題の把握と今後何ができるか検討 ・母語の問題、学力の問題 ・学校に行く前の準備の問題(ブレスクールの必要性) ・進学の問題、10代の子どもの問題
3	平成 25 年 1 月 30 日 15:00～17:00	2 時 間	さいたま市市民 活動サポートセ ンター	佐藤美姿 佐藤恭子 高柳なな枝 井上く み子 芳賀洋子 田 代ドルマー 大奈路 アリシア 金子多実 枝 相内広樹	1)事業報告 2)外国人親子の事 例から 3)平成 25 年度文化 庁委嘱事業に向け て	1)報告(1)「生活者としての外国人」に対する日本語教室の運営・成 果・課題など(2)養成・研修「にほんご畑」の成果と期待(3)子育て・教 育についての理解を深めるための学習教材作成について 2)この1年で寄せられた外国人親子の事例・相談から、来年度に向け て何ができるか検討 3. 平成 25 年度文化庁委嘱事業(予定)の検討

第2回運営委員会風景



第3回運営委員会風景



5. 日本語教室の設置・運営

(1) 講座名称 外国人と日本人が共に学ぶ日本語教室“多文化ハッピープログラム”

①七里地区における親子の日本語教室(地球っ子クラブ 2000 担当)

②言葉と文化を発信する日本語教室(Coconico担当)

(2) 目的・目標

- ①地域の公民館、学校、保護者と連携して、子どもたちの教育環境を向上させる。
- ②昨年度実施した多言語絵本の読み聞かせをさらに文化紹介を含めて拡大し、多文化の街作りを発展させる。

(3) 対象者

- ①外国出身の親子
- ②子育て中の親子、これから子育てをする人、子育て終了者(外国出身者及び地域の日本人)

(4) 開催時間数(回数)

- ① 40 時間 (全 9 回)
- ② 22時間 (全11回)

(5) 使用した教材・リソース

学校で使用している各科教科書、絵本

『こどもにほんご宝島』アスク出版

フリーダウンロード教材 ちびむすドリル <http://happyilac.net/syogaku.html>

幼児の学習素材館 <http://happyilac.net/kisetsu-sozai.html>

『生活者としての外国人に対する日本語教育カリキュラム案』

大月書店くらべてわかる世界地図2『学校の世界地図』

自主教材(作成中の話題集) 絵本多数、

(6) 受講者の総数

- ① 13人(うち子ども6人) ただし デイキャンプ26人は除く
(出身・国籍別内訳 ベトナム6人 バングラディシュ3人 中国4人)

- ② 36人(うち子ども12人)

(出身・国籍別内訳 中国12人 フィリピン8人 モンゴル2人 インドネシア3人 韓国3人 ベトナム1人 パラグアイ1人 スリランカ1人 マレーシア1人 フランス1人 オーストラリア3人)

(7) 受講者の募集方法

- ・埼玉県国際交流協会「日本語教室一覧」に掲載
- ・さいたま市暮らし情報「ぶらら」さいたま市内のボランティア日本語教室に掲載
- ・埼玉県国際交流協会、さいたま市教育委員会、さいたま市子育て支援課との連携による広報
- ・事業参加者による口コミ
- ・地球っ子クラブ 2000HP <http://www.chikyukkoclub2000.com/>

(8) 日本語教室の具体的内容

①七里地区における親子の日本語教室(地球っ子クラブ 2000 担当)

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師 又は 指導者数	講師又は 指導者名	補助者数	補助者	備考
1	平成 24 年 8 月 4 日 10:00～ 12:00	2 時間	七里公 民館	3人	ベトナム(3人)	夏休みの 宿題 1	科学遊び「染め物」を活動に取り入れ、生活言語と学習言語の橋渡しを行う。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	教科書『こどもに ほんご宝島』アスク出版
2	平成 24 年 8 月 25 日	2 時間	七里公 民館	7 人	ベトナム 4 人 バングラデシュ 3 人	夏休みの 宿題 2 (まとめ)	夏休みの自由研究として提出できるように「染め物」の手順や感想などを書き入れ、まとめる。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	フリーダウンロード教材 ちびむすドリル http://happyilac.net/syogaku.html
3	平成 24 年 9 月 22 日	4 時間	七里公 民館	26 人	中国 7 人 日本・中国 2 人 ブラジル 1 人 ペルー・ブラジル 2 人 インドネシア 3 人 パキスタン 4 人 フィリピン 3 人 日本人 4 人 ※国際結婚した日本人を含む	デイキャンプ	お母さんだけではなく、お父さんも巻き込んだ活動にするために、男手を必要とするデイキャンプを開催。 自分が食べたい野菜を各自用意し、そこからできる料理をお父さん、お母さんが中心に作る。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	
4	平成 24 年 11 月 10 日	2 時間	七里公 民館	10 人	ベトナム 4 人 バングラデシュ 3 人 中国 2 人 日本人 1 人 ※国際結婚した日本人	重さ比べ	学習言語との結びつきをはかる。提示されたものの重さに近いものはどれか、どれが一番重いかなど予測を立て、はかりが読めることを目標とする。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	教科書・フリーダウンロード教材 ちびむすドリル http://happyilac.net/syogaku.html
5	平成 24 年 11 月 24 日	2 時間	七里公 民館	8人	ベトナム 5 人 バングラデシュ 3 人	ホットケーキを作ろう	はかりを実際に使う場を設定し、「g」や「cc」など様々な単位があることを知る。はかりを再度使うことで、生活の中ではか	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	教科書『こどもに ほんご宝島』アスク出版

							りが使えることを目標とする。					
6	平成 24 年 12 月 8 日	2 時 間	七里公 民館	8人	ベトナム 4 人 中国 1 人 タイ 3 人	○△□	語彙を増やす活動。シン ブルな形から、どのよう なものが連想できるか 絵をかき、何を書いた か、名前も記入すること で、名前がわからなかつ たものの名前を確認し、 獲得していく。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	教科書・フリーダ ウンロード教材 ちびむすドリル http://happyilac. net/syogaku.html
7	平成 24 年 12 月 22 日	2 時 間	七里公 民館	5人	ベトナム 2 人 バングラデシュ 3 人	カレンダ ーを作ろ う	日本語だけでなく、母語 も活用する活動。お母さ んたちに母語を教えても らい日本人と一緒に子 ども達も母語を学ぶ。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	『こどもにほんご 宝島』アスク出版
8	平成 25 年 1 月 12 日	2 時 間	七里公 民館	7人	ベトナム 3 人 バングラデシュ 3 人 中国 1 人	お正月の 遊び	かるたやすごろくなど、 お正月の遊びを紹介し ながら、日本語で遊ぶ。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	いろはカルタ、 百人一首『こども にほんご宝島』ア スク出版
9	平成 25 年 1 月 26 日	2 時 間	七里公 民館	7人	ベトナム 3 人 中国 4 人	宿題＋カ ルタ遊び	宿題をして活動をする という流れにすること で、お母さんたちにどの ような宿題があるのか 知ってもらい、子ども 宿題をきちんとやってい くことをルーティーン化 する。	1 名	高柳 な な枝	2 名	相内 広樹 小野寺 美樹	いろはカルタ、 百人一首『こども にほんご宝島』ア スク出版

②言葉と文化を発信する日本語教室(Coconico担当)

回 数	開講日 時	時 間 数	場 所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講 師 又 は 指 導 者 数	講師又は指導 者名	補 助 者 数	補助者	備考

1	平成 24 年 6 月 28 日 10:30～ 12:30	2 時 間	コープブ ラザ	8 人(子 2 人を含 む)	中国(1 人)、フィリ ピン(3 人)インド ネシア(1 人)モン ゴル(1 人)	メリーさんの料理 教室「親子でミー ゴレン」	7 月 23 日の料理 教室に向けて講 師としての日本語 学習	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺美 樹 芳賀洋子	キャロライン・セ ング(1993) 『世界の料理絵 本』集文社
2	平成 24 年 7 月 5 日 10:30～ 12:30	2 時 間	コープブ ラザ	8 人(子 3 人を含 む)	中国 1 人 フィリピン 2 人 モンゴル 1 人 インドネシア 1 人	夏休みに何をす る？	事業で作成するテ キスト(話題集)を 実際に使ってみ る。長い休みの意 識の違いなどにつ いて	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺 美樹 芳賀 洋 子	自主テキスト 「学校の休み」 大月書店くらべ てわかる世界 地図2『学校の 世界地図』
3	平成 24 年 8 月 2 日 10:30～ 12:30	2 時 間	コープブ ラザ	10 人(子 4 人を含 む)	中国 2 人 インド ネシア 1 人 モン ゴル 1 人 フィリピン 1 人 パラグアイ 1 人	プール遊び(保 育)漢字の勉強と 国際フェアの準備	国際フェアでのイ ンドネシアとモン ゴルの料理紹介 に向けて準備と練 習。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺 美樹 芳賀洋子	
4	平成 24 年 8 月 23 日 14:30 ～16:30	2 時 間	さいたま 市立南浦 和図書館	11 人(子 4 人を含 む)	中国 2 人 モンゴ ル 1 人 スリランカ 1 人 フィリピン 1 人 ベトナム 1 人	Coconico おはな し会	南浦和図書館で の 2 回公演。一般 の観客①46 人② 19 人と大きな成 果。自信につなが った。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺 美樹 芳賀洋子	絵本『はらぺこ あおむし』他
5	平成 24 年 8 月 30 日	2 時 間	コープブ ラザ	9 人(子 3 人を含 む)	中国 2 人 インド ネシア 1 人 モン ゴル 1 人 パラグ アイ 1 人 マレー シア 1 人	具合が悪い時どう してほしい？	参加者が熱を出し たことから、病気 の時、パパにどう して欲しいか？を 話合った。ま た、Coconico おは なし会の振り返り。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺美 樹 芳賀洋子	『生活者として の外国人に対 する日本語教 育カリキュラム 案』
6	平成 24 年 9 月 12 日	2 時 間	さいたま 市市民活 動サポー トセンタ ー	9 人(子 3 人を含 む)	中国 1 人 インド ネシア 1 人 モン ゴル 1 人 台湾 1 人 パラグアイ 1 人 スリランカ 1 人	Coconico おはな し会	サポートセンター 「あつまれおやこ」 より、依頼を受け ておはなし会。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺美 樹 芳賀洋子	絵本『ぼくのうち はゲル』他
7	平成 24 年 10 月 14 日	6 時 間	さいたま 新都心け やき広場	11 人(子 4 人を含 む)	中国 3 人 インド ネシア 2 人 モン ゴル 1 人 パラグ アイ 1 人	国際フェア・ミーゴ レン、ツォイワン の紹介	国際フェアに参 加。インドネシアと モンゴルの料理 紹介。他のメンバ ーはお手伝い。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺 美樹 芳賀 洋 子	キャロライン・セ ング『世界の料 理絵本』集文社

8	平成 24 年 11 月 5 日	2 時間	コープブ ラザ	10 人(子 4 人を含 む)	中国 2 人 インド ネシア 1 人 モン ゴル 1 人 フィリ ピン 2 人	薬について 折り紙を使ってお 薬あそび	病院でもらったお 薬について。ま た、子どもたちと いっしょに折り紙 を使ってお薬あそ び。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺美 樹 芳賀洋子	『生活者として の外国人に対 する日本語教 育カリキュラム 案』
9	平成 24 年 12 月 3 日	2 時間	コープブ ラザ	12 人(子 5 人を含 む)	中国 2 人 フィリ ピン 3 人 インドネシ ア 1 人 モンゴル 1 人	植竹公民館での おはなし会練習	おはなし会に出た ことがないメンバ ーも、いっしょにパ ネル作りや絵本 読み、歌の練習を 体験した。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺美 樹 芳賀洋子	絵本
10	平成 24 年 12 月 17 日	2 時間	コープブ ラザ	8 人(子 2 人を含 む)	中国 3 人 モン ゴル 1 人 フィリ ピン 2 人	中国の伝説の日 本語版作り	中国の伝説の翻 訳とライラさんを 囲んで中国語遊 び	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺 美樹 芳賀 洋 子	自主教材
11	平成 25 年 1 月 21 日	2 時間	コープブ ラザ	14 人(子 6 人を含 む)	中国 3 人 モンゴル 1 人 フランス 1 人 オーストラリア 1 人 韓国 2 人	ママのことばで絵 本と歌を楽しむ Coconicoおはな し会の準備	2月10日の植竹 公民館でのおは なし会に向けて練 習。子どもたちも がんばりました。	1 名	井上 くみ子	2 名	小野寺 美樹 芳賀洋子	絵本『ほら そ っくり』他 見学者3人

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

①について 以下3回分の報告を記載します。

日にち	2012 年 8 月 4 日(土)
場所	さいたま市立七里公民館(実習室・談話室)
時間	10:00-12:00
テーマ・目的	・夏休み中に集中して日本語教室をおこなうことで、日本語や教科学習、さらには親とのつながりをつくる第一歩とする。 ・活動を通じて、学習言語と生活言語をつなげる体験をする。 ・夏休みの自由研究を完成させる。
使用テキスト・資料	インターネットで染め物について検索したものを資料とする。
活動内容 活動の流れ	1. 染める液体の準備 A の鍋にタマネギの皮、B のお鍋に赤ジソの葉を入れ、ひたひたの水を入れて、煮る。液体ができれば、ザルでこす。 2. 染めるものの準備

	①よく水洗いして、布についているノリを落とす。 ②輪ゴムを使って、布をしぼる。 3. 染め物開始 できた液体の中に布をいれ、色を付ける。 4. ばいせん ① みょうばんをはかって水にとかしておく。 ② まった布をザルにあげて、ばいせん液の中に入れる。 ③ 10 分ほど煮たらザルにあげ、水洗いする。 5. 輪ゴムをは外し、乾かす。
--	--



日にち	2012 年 8 月 25 日(土)
場所	さいたま市立 七里公民館(談話室)
時間	10:00-12:00
テーマ・目的	・前回行った自由研究(染め物)のまとめをして、活動を振り返る。 ・自由研究の宿題として提出できる形にする。
使用テキスト・資料	「8 月 4 日染め物に挑戦」の活動中に撮った写真 手紙入れ作成キット、かるた、大きめのトランプ
活動内容 活動の流れ	1. 2 つのグループに分かれ活動をする。 (1)染め物をしたが 8 月 11 日の活動をお休みしたグループ ①染め物の実験をしている様子が写っている写真を見ながら、また乾いて完成した布を見て、染め物をした時の様子を振り返る。 ②染め物を行った時の感想や味、においなどを記入する。 (2)染め物のまとめが終わった、もしくは染め物に参加していないグループ ①動物の手紙入れの工作 ② カルタあそび 2. 全員でトランプ遊び(ババ抜き)



日にち	2012 年 8 月 25 日(土)
場所	さいたま市立 七里公民館(談話室)
時間	10:00-12:00
テーマ・目的	・前回行った自由研究(染め物)のまとめをして、活動を振り返る。 ・自由研究の宿題として提出できる形にする。
使用テキスト・資料	「8 月 4 日染め物に挑戦」の活動中に撮った写真 手紙入れ作成キット、かるた、大きめのトランプ
活動内容 活動の流れ	1. 2 つのグループに分かれ活動をする。 (1)染め物をしたが 8 月 11 日の活動をお休みしたグループ ①染め物の実験をしている様子が写っている写真を見ながら、また乾いて完成した布を見て、染め物をした時の様子を振り返る。 ②染め物を行った時の感想や味、においなどを記入する。 (2)染め物のまとめが終わった、もしくは染め物に参加していないグループ ①動物の手紙入れの工作 ②カルタあそび 2. 全員でトランプ遊び(ババ抜き)



②発信する日本語教室 2回分の詳細を報告します。



日にち	2012 年 8 月 23 日 (木)	活動場所	さいたま市立南浦和図書館
参加人数	11 人 (うち子ども 4 人)	男女比	女 10 人
テーマ 目的	Coconico おはなし会＝外国出身のママたちによる多言語絵本の読みきかせ ・外国出身のステキなママ達の存在を地域社会にアピールする。 ・世界にはたくさんの言語がある (外国語＝英語ではない) ・いろんなことばの楽しさを知ってもらう。		
内容	2 回公演 1) 3:00～3:40 2) 4:00～4:40 世界のことばで挨拶『挨拶絵本』 『ぼちぼちいこか』インドネシア語＋関西弁 『ぼくのうちはゲル』モンゴル語＋日本語 パネルシアター『カレーを作ろう』ベトナム語＋シンハラ語＋インドネシア語＋中国語		
使用テキスト・ 資料	五味太郎『挨拶絵本』 マイク・セイラー作・ロバートグロスマン絵・今江祥智訳『ぼちぼちいこか』 バーサンスレン・ボロルマー作・長野ヒデ子訳『ボクのうちはゲル』 五味太郎『わにさんどきっはいしゃさんどきっ』		
実際の様子	・観客数 1 回目) 子ども 27 人、大人 19 人 2 回目) 子ども 13 人、大人 6 人 ・たくさんの日本人親子に来てもらって、とても楽しんでもらった。 ・みんな練習の時よりもずっとうまくできた。表現力がゆたか。日本人は見習いたい。		
成果 よかったこと	・L さんは子どもに中国語を教えたいが、なかなか難しいと言っていた。おはなし会の初めは中国語が始まると耳をふさいでいた息子さん。中国語に対して拒否感があることが見えていた。ところがママがみんなの前でお話をはじめ、みんなが楽しむ様子をみると、中国語のところを大きな声でいいはじめたのだ。目の前で子どもが変わるのを見てこのような機会の意味を確信することができた。 ・今度は文化紹介も入れて、大人対象のおはなし会ができたらいいという声が出た。 ・出演者達はみな生き生きしてステキだった。日本人の前で自分のことばを聞いてもらってすごく自信になったという感想があった。		
反省点 課題	・図書館でのおはなし会、子どもまたは親子対象のおはなし会から一歩進んで、大人対象のおはなし会をしたい。 ・そのために、機会の開拓が必要。公民館などへの働きかけをしていきたい。		



日にち	2013 年 1 月 21 日 (月)	活動場所	さいたま生協コーププラザ浦和
参加人数	16 人 (うち子ども 7 人)	男女比	女
テーマ 目的	ママのことばで絵本や歌を楽しむ ・見学者の希望もあり、日頃楽しんでいる活動の紹介として。 また、2 月のおはなし会の練習として。		
内容	・多言語で絵本の読みきかせ『挨拶絵本』『ほらそっくり』 ・パネルシアター作り『ほらそっくり』 ・お弁当の時間 ・最後にもう一度、多言語で絵本の読みきかせ『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』		
使用テキスト・ 資料	絵本『ほらそっくり』 五味太郎『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』		
実際の様子	・日頃の活動の成果がでて、子どもたちが積極的に参加する姿が見られた。 ・お弁当の後、元気に遊んでいても、『はじまるよ！』の歌が始まると輪になって座って読みきかせを聞く体制になる。歌と絵本を楽しみにしている。 ・今日は新しく参加した人がいたので読みきかせに飛び入りで参加してもらった。 フランス語で『挨拶絵本』韓国語+日本語で『わにさんどきっ はいしゃさんどきっ』 みなさん、初めてでも、表情豊かにみんなを楽しませてくれた。		
成果 よかったこと	・子どもたちにとって、平素からの絵本の読みきかせや歌が定着していることが分かってよかった。 ・多言語を楽しむ力がみんなに付いている。 ・ずっと来ている子どもたちは見るだけでなく、自分もみんなの前で歌ったり絵本を読んだりしたがるようになった。今日は N ちゃんが中国語で『うさぎ』の歌を謡ってくれた。		
反省点 課題	・今日は、他日本語ボランティア団体からの見学者があった。 ・活動に参加してもらいながら見学して頂いたが、私たちの活動方法と、参加者が生き生きと参加している姿を見てもらえたと思う。これからも、前向きに見学者を受け入れることで私たちの理念を共有してもらい、連携を深められたらと思う。		

(10) 目標の達成状況・成果

①について

参与観察、および宿題や成果物を見ていくと、この 1 年の七里教室での活動で、子どもたちが落ち着き、課題に取り組めるようになってきていることがわかる。

子どもたちは学校以外ではそれぞれの母語で生活しているので、生活言語の語彙(日本語)が不足していたが、教室で、活動を日本語でおこなううちに、不足していた語彙を日本語で獲得

できてきた。また「はかる」「比べる」「予測する」など学習につながる体験を行うことで、学校生活における学習へのステップになったようだ。

②について

文化庁の委嘱事業ということで各方面との繋がりが深まりつつある。図書館でのおはなし会では、多くの親子を集めることができて図書館の運営にも多少の貢献ができたと思う。他に、さいたま市の市民活動サポートセンターの事業からの要請で2回、植竹公民館から2回のおはなし会ができた。また、参加者を講師として地域の日本人(特に子育て中の人)に多国籍の料理と文化を楽しみながら理解してもらおうという試みも順調に滑り出した。

各取組に主体的に関わることで、子育て中の外国人ママ達が、日本社会で大きな自信をつけたと思う。結果として、仲間作りの場所であり、居場所になっている。

(11) 改善点について

①について

親の参加をどのように促すかが課題である。下の子どもが小さい、仕事があるなどの理由で親が参加できない家庭もあるが、年に何回かでも親に参加してもらい、日本語教室とつながれるようにする必要がある。

学校と連携し、本当に日本語教室が必要な親子に教室を紹介してもらうなど他機関(学校)との連携を強化したい。そのためには教育委員会の理解、関係作りが不可欠である。

②について

事業としての成果は出ているものの、さいたま市には多くの子育て中の外国出身者がいることを考えると、その情報を本当に必要としている人に届ける必要がある。力をつけた子育て中の外国出身者が、今度は、孤立しがちな同国人への働きかけができるようにしていきたい。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称 ①講座『多文化の町の日本語教室ことはじめ』

②日本人と外国人と一緒に学ぶ共通語としての日本語講座『にほんご畑』

(2) 目的・目標 外国人は日本語を学び、日本人は外国語としての日本語を同じ土俵で学ぶことにより、多文化共生の地域作りをめざす。やさしい日本語の認知と普及をめざす取組として継続していくことで、地域における日本語環境を変え、日本人側も変わっていくための試みとしたい。

(3) 対象者 日本人・外国人

(4) 開催時間数(回数) ①2時間 ② 18 時間 (全 ①1 回 ②9回)

(5) 使用した教材・リソース

『生活者としての外国人に対する日本語教育カリキュラム案』

『にほんご宝船』アスク出版

災害時パンフレット(埼玉県警作成)

(6) 受講者の総数

① 68人

(出身・国籍別内訳)

日本 58人 中国 4人 ブラジル 1人 台湾 1人 スリランカ 1人
モンゴル 2人 ロシア 1人

② 42人 (子ども含まず)

(出身・国籍別内訳)

日本 26人、中国 7人 モンゴル 1人 フィリピン 1人 パラグアイ 1人
ブラジル 1人、マレーシア 1人 スリランカ 1人 バングラディッシュ 1人
ベトナム 2人)

(7) 受講者の募集方法

①チラシ作成

②・春原先生の講座『多文化の町の日本語教室事はじめ』で参加呼びかけ

・口コミ

(8) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師 又は 指導 者数	講師又 は指導 者名	補助 者数	補助者	備考
1	平成 24 年 7 月 19 日 18:30～ 20:30	2 時 間	浦和コミ ュニティ ーセンタ ー	68人	中国5人 モンゴル2 人 ブラジル1人 スリ ランカ1人 ロシア1人 台湾1人 日本57人	多文化の町の 日本語教室こ とはじめ	多様な参加者がワー クショップを通して、 地域における多文化 共生を実感できた。	1名	春原 憲一郎	2 名	芳賀 洋子 松澤 説子	
2	平成 24 年 8 月 9 日 10:30～ 12:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	12人 + 子 ども 5 人	中国1人 フィリピン1 人 モンゴル1人 日 本 9人	『にほんご畑』 日本語を見直 そう	外国人補助者から日 本語に関する質問を 出してもらい、それに 答えることで多文化 社会における日本語 の意味を考えてみる	1名	芳賀 洋子	2 名	田代ドルマ ー 武田 園園	
3	平成 24 年 8 月 9 日 18:30～ 20:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	15人 + 子 ども 1人	中国3人 ベトナム2 人 スリランカ1人 日 本 8人	『にほんご畑』 日本語を見直 そう	外国人補助者から日 本語に関する質問を 出してもらい、それに 答えることで多文化 社会における日本語 の意味を考えてみる	1名	松澤 説子	1 名	大奈路 ア リシア	

4	平成 24 年 9 月 13 日 10:30～ 12:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	10 人 +こど も1人	中国 3 人 パラグアイ 1 人 日本 6 人	『にほんご畑』 日本語を見直 そう	外国人補助者から日 本語に関する質問を 出してもらい、多文化 社会における日本語 のあり方を考える	1 名	芳賀 洋子	1 名	大名路 ア リシア	
5	平成 24 年 10 月 18 日 10:30～ 12:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	10人 +子ど も1人	中国 2 人 モンゴル 1 人 日本 7 人	『にほんご畑』 日本語のおも しろさ	外国人補助者から日 本語に関する質問を 出してもらい、それに 答えることで日本語 の特徴を知り、外国 人にとって分かりや すい日本語とは？を 知る。	1 名	芳賀 洋子	2 名	田代ドルマ ー 武田 園園	
6	平成 24 年 10 月 18 日 18:30～ 20:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	10 人+ こども2 人	中国 3 人 パラグアイ 1 人 日本 6 人	『にほんご畑』 日本語のおも しろさ	外国人補助者から日 本語に関する質問を 出してもらい、それに 答えることで日本語 の特徴を知り、外国 人にとって、分かりや すい日本語とは？を 知る。	1 名	松澤 説子	1 名	大名路 ア リシア	
7	平成 24 年 11 月 15 日 10:30～ 12:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	10 人 + 子 ども1 人	中国 2 人 ブラジル 1 人 マレーシア 1 人 モンゴル 1 人 日本 5 人	『にほんご畑』 日本語のおも しろさ	外国人補助者から日 本語に関する質問を 出してもらい、それに 答えることで日本語 の特徴を知り、外国 人にとって、分かりや すい日本語とは？を 知る。	1 名	芳賀 洋子	2 名	田代ドルマ ー 武田 園園	
8	平成 24 年 11 月 15 日 18:30～ 20:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	9人	中国 2 人 パラグアイ 1 人 バングラディシュ 1 人 日本 5 人	『にほんご畑』 日本語のおも しろさ	外国人補助者から日 本語に関する質問を 出してもらい、それに 答えることで日本語 の特徴を知り、外国 人にとって、分かりや すい日本語とは？を 知る。	1 名	松澤 説子	1 名	大名路 ア リシア	
9	平成 24 年 12 月 20 日	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事	12 人	マレーシア 1 人 中国 1 人 パラグアイ 1 人 ブラジル 1 人 モンゴ	『にほんご畑』 やさしい日本 語	やさしい日本語と は？外国人の実感 や具体例から学ぶ。	1 名	芳賀 洋子	2 名	田代ドルマ ー 大名路 ア	

	10:30～ 12:30		務所		ル1人 日本7人		実際に災害時のお知らせなどをやさしい日本語に直してみる。				ロシア	
1 0	平成 25 年 1 月 17 日 10:30～ 12:30	2 時 間	地球っ子 クラブ 2000 事 務所	9 人＋ 子ども 2 人	中国 2 人 マレーシア 1 人 パラグアイ 1 人 日本 5 人	『にほんご畑』 やさしい日本語	母語の違う外国の人の実感を聞きながら、実際に災害時のお知らせなどをやさしい日本語に直してみる。	1 名	芳賀 洋子	2 名	武田 園園 大名路 ア ロシア	

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

にほんご畑では、毎回、外国出身者から、日本語についての質問等(言葉の使い方、意味の問題など日本語そのものについて。他に、日本社会での言葉の問題についてなど)を出してもらい、みんなで考え合う活動をした。言葉についての質問では、日本人側は、辞書を使用せず、自分がいつもどんな時にどんなふうに使っているかをグループ討議することにより、日本語について振り返ることができるようにした。(日本語通信参照)

『にほんご畑で』学習した内容の一部を、レジュメとお誘いを兼ねたものとして、次回のにほんご畑の時に『にほんご畑通信』として発行した。

★7月19日の春原憲一郎先生の講座「多文化の町の日本語教室ことはじめ」では、できるだけ多くの人たちに多文化共生について考えてもらい、その後の「外国人と日本人が共に学ぶ合う日本語教室」のスタートとすることをめざした。多文化、多世代の参加者があり、多文化共生とは？人とのつながりとは？コミュニケーションとは？などの課題について、考え合い、体験することができた。ワークショップ中心の印象深い講座であった。(2月28日の報告時に「春原先生講座チラシ」としてパンフレットを別に添付いたしました。

にほんご畑通信 2

9月13日(木) にほんご畑 10:30～

<外国語で、数字を使ったゲーム。日本語だったらもっと早く言えるのに～>

☆八百屋のお店に並んだ 品物みてごらん／よく見てご覧 考えてご覧

隣の人が言ったもの＋自分の応え

☆トントン 2・5

自分の数字を決めておき、指名されたら、トントンの後に続けて、

自分の数字、他の数字をいう。

はじめ日本語で。その後、スペイン語で 中国語で

●間違えて、自分じゃないのに応えてしまったり、同じ数字ばかり言ったり。

自分の国では数学ができていたのに、日本に来て、日本語で数学を勉強するために
なかなか結果が出せない子どもの気持ちがよくわかった。

<日本語は寛容でない？>アリシア・スペイン語

☆同じスペイン語圏と言っても、ペルーとボリビアでは違う言葉がある。

例えば、免許。パラグアイでは registro de licencia ペルーでは conducir

もし、パラグアイの人が conducir を registro de licencia に直したら、

それは間違いになるし、失礼なこと。

だから、あなたの国ではそういうの～というだけ。そういう言葉がたくさんある。

●だからそういう言語の国で育った人は言語に寛容になるが、日本のように
一つの言語で育った人はそういう寛容が少ない。

寛容のない言語の国は、外国人にとって大変な思いをすることも多いことと思う。

<日本語学校で、「の」の人 といわれた>厳・中国語

名詞＋的＋名詞 得＋形容詞 地＋動詞

●どれも「～～の～～」中国の人が日本語を学ぶ時、

高いのバック とか 買ったの本 とか言うわけがよくわかった。



教室風景

文化庁委嘱事業 地球っ子クラブ2000 & 多文化子育ての会 Coconico 主催

“にほんご畑”通信 12月20日

いろ しゅるい たさい そだ はたけ
色も、種類も多彩なにほんごが育っている 畑

はな さ み たね こ そだ
花が咲き、実をつけ、そして種がこぼれて、たくさんの子どもたちが育つところ

はたけ たがや つち つく
みんなで 畑 を 耕 して、いい土を作りましょう！

＜日本語っておもしろい！＞……最後を聞かないと用件がわからない？

あいう、すいません。これ、昨日こちらのお店で買ったんですけど～、家へ帰って
着てみたらちょっとお腹のところがきついので～とりかえていただけますか？

アメリカのお店でこう言ったら(もちろん英語で)怒られたそうです。

日本語は前置きが長いので何を言いたいのかわからない！

日本人は、この出だしを聞いただけで、最後まで聞かなくても、用件を察するのですが

英語を話す時でも母語の影響が出てしまうのですね。

提供：アラムさん(バングラディシュ出身)11/15

「にほんご畑」は、どなたでも、いつでも、参加できます。

多文化とは？外国語としてのにほんごとは？外国人にとってのにほんごとは？母語とは？

日本人はにほんごを知ってる？外国出身の人も日本人も、いっしょに考えるところです。

畑での作業を通していい関係をつくり、多文化の街をめざしましょう！

※ みんなで作り上げるために、いくつかのまもりたいイメージがあります。

その1) それぞれの文化と言葉を大切にします。

その2) 説明は NG です。例文を出し合ってみんなで考えます。

その3) 辞書も NG です。自分が、どんな時に、どんな風に使っているかを考えます。

(10) 目標の達成状況・成果

多くの外国出身者が地域で共に暮らす社会がやってきた。しかし、日本語教育関係、ボランティア関係者でないと、その事実も、外国出身者と普通に言葉を交わすこともあまりないという傾向が現実である。従って、日本人側も変わっていかうという目的で、今回の講座を立ち上げた。

まず、春原憲一郎氏を迎えて講座を開き、非常に多くの人(一般の日本人、外国出身者も)に参加してもらうことができた。それを発端として、日本人と外国人が共に学ぶ日本語教室として『にほんご畑』を立ち上げた。月1回の例会であるが、日本人にとっても、外国出身者にと

っても共通語としての日本語を意識する、楽しく学び合う、有意義な場になっていると思う。

会が継続発展することが最大の検証結果であると思っている。

(11) 改善点について

一般の日本人の参加を増やすこと。

実際やってみて感じることは、日本語を母語として、何の意識もなく日本語を使っている人にとって、時に難しい内容になっているということである。一般の日本人にとってメリットのある内容になるよう、工夫をしていきたい。

また、取組の成果として、今後は外国人の力が地域社会で生かせるように、会としての活動(例えば、多言語のチラシを作るとか、やさしい日本語の普及とか、地域と繋がりを持っていない外国人に働きかけるとか)を模索していきたい。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

(1) 教材名称 話題集「多文化子育てハッピープログラム」

(2) 対象 外国出身の子育て中の人・国際結婚の家族・すべての日本人

(3) 目的・目標

地域に暮らす外国出身の住民と日本人とが共に子育て、教育について語り合い、お互いの文化や背景を理解し合い、その結果、2つの文化を背景に持つ子どもたちの教育環境が向上し、日本社会の中で活躍するようになる一助とする。

(4) 構成 A4 サイズ43ページ(はじめに、目次、テーマ40、おわりに)

(5) 使い方

必要なページをコピーして使用。できればグループでの話し合いに活用する。

日本人側が教えるのではなく、お互いの教育観やそれぞれ受けてきた教育について話し合うことで、日本の教育を理解し、子ども教育に親が主体的に関われるようになることを願っている。

(6) 具体的な活用例

①子育て中のママや国際結婚の家族などの話し合いの時などに話題集として利用。実際の活動中に出てきたよく聞かれる問題を取り上げてあるので何回かのシリーズとして利用することも可能。

②さまざまな学習や活動のなかで、子育てや、学校教育が話題になった時、該当するページをコピーして使用すると理解しやすいし、日頃の疑問や質問も出やすくなる。

例えば、将来の子どもの進学問題が話題になった時、奨学金についてのページを使って、いざとなって進学をあきらめたりしないように早くからお金の問題を計画しておくべきこと、奨学金は簡単に借りられないことなど、話し合うことで理解を深めて欲しい。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

外国につながる人達が、地域でその力を十分に発揮し活躍する多文化共生の街作りのために、日本語教室のあるべき姿をあらためて考え試行する。その中で、外国人の活躍する場作りと、そのための学習として「共通語としての日本語」を日本人側も学び、地域の日本語環

境を変えていくことを目的とする。

さらに、外国につながる子であっても日本の未来を担う子どもたちととらえ、その教育を保障するための一策として、両親(特に国際結婚した日本人父親)の参加できる場としての教室をもうける。これを通して、最近増えている10代後半の子どものケアと未就学児のプレスクールへの足がかりにしたい。

(2) 目標の達成状況・事業の成果

Coconicoおはなし会やにほんご畑の活動を通して、外国人が活躍する場作りや、外国人と日本人が仲間として協働するという関係作りはできてきている。共通語としてのやさしい日本語については、日常的に広めていく必要性を参加者が共有することもできた。

また、学校生活や学習で学校に充分対応していなかった子どもたちが、七里教室に通うことで明らかな成長を見せていることは大きな成果である。その保護者とも、いろいろな面で連絡のできる関係までに進んだ。日本語支援に関する面では、今までのノウハウを活かして、実生活や体験に結びついた内容の活動をすることにより、具体的な成果が見えている。

しかし、多文化を背景に持つ子どもたちの教育環境をよりよいものにして、将来日本社会の中で貢献していくため、または子どもたち自身が自己実現していくために、広く地域社会の意識を変えていく取組はまだ始まったばかりであるし、たいへん大きな問題で、私たちの団体だけではきっかけの問題提起ができた程度である。子どもたちの教育の問題を、国際結婚、子育て、就学前の教育、学校教育と一連の流れの中で捉えて行こうという意識を、もっと、国際関係、学校関係の方達と共有、連携する必要がある。先頃増えている10代の若者たちの問題については、今すぐに解決策を考えていかなければいけないと考え、運営委員の石戸先生が運営している多文化共生広場と連携しつつ、具体的な学習支援、進学支援を地道にしてきたが、子どもたちの教育を考える上で、特に注視していきたいことである。

同時に、子どもたちの教育についての親の役割や、私たちといっしょに考え合おうというメッセージを理解してもらおうところまで行っていないこと、日本語関係でない日本人に多文化共生社会の支え手になってもらうためには日本人側のメリットも考えていかなければならないなど、足下の活動も道半ばである。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

基本的に、子育て、子どもの教育をテーマとしている取組であるため、カリキュラム案の弱い部分であると認識している。意識して活用しているが、正直言って、参加者の興味はより生活に密着した情報を期待している。

実際の当事者のニーズから、カリキュラム案から出発して広がった内容を話題集としてまとめることになった。今回作成した、話題集である。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

七里地区……学校、公民館(活動の実績が浸透し、活動場所の確保など、協力、支援してくれるようになった)

南浦和地区……さいたま生協(活動の部屋の確保とお料理会)、南浦和図書(おはなし会の連携行事)

さいたま市……子育て支援課との繋がり、特別支援学校との繋がりができたことが大きい。

運営委員会……各方面の委員が多忙のため、委員会への出席は芳しくなかったが、それぞれ出向いて話し合いの内容を共有するなどして、理解はより深まった。

以上の成果をふまえて、来年度はより連携を必要とするプログラムに進む予定である。

(25年度文化庁委嘱事業プログラムBに応募中)

(5) 改善点、今後の課題について

最近、私たちの団体に、子育てや教育に関する相談が寄せられる回数が増えてきている。

例えば

- ・国際結婚の父親から……呼び寄せの子どもをどこの学校に入れたらよいか？子どもが日本語を学べる場所が近くにあるか？

- ・行政から……訪問でみつかった乳児をもつ外国人がいるがサポートできるか？

就学時検診で問題のあった子どもの親と話す場合、ことばの問題で意志の疎通が難しい場合があるがサポートできるか？

さいたま市の公立小中学校においては教育委員会から日本語指導員が各学校に派遣される制度があるが1年に限られている。この支援だけでは不十分であり、地域や家庭も子どもの教育について考えていく必要がある。また、年齢や背景にさまざまな違いのある子ども達の学ぶ権利や、将来日本社会で活躍する人材に育つ教育を保障することができていないため、これから、きめ細かな体制を作っていく必要がある。子どもたちと関わって子どもたちからのメッセージを受け取った私たちがこれからの体制作りに一役を担っていきたいと考えている。